

文學の森

Kitakyushu Literature Museum News

しおり

第11号

2012年4月1日発行

館長退任のごあいさつ

名誉館長 佐木 隆三

このたび北九州市立文学館の館長業務を解かれ、名譽館長を委嘱されました。五年間にわたる館長在任中は、たいへんお世話になりましたが、十分にご期待に応えられず、まことに申し訳なく思っています。これからはせめて微力を、文学館のために尽くす所存です。どうか宜しく、お願い致します。

わたしは外地(北朝鮮)生まれで、中学一年のときから北九州で育ちました。廃墟から「奇跡の復興」を遂げる経済状況下で、文学(文化)は、多様な表情を見せながら、独自のものを築き上げてきましたように思います。その北九州文学を、どのように評価すべきか。いま正に、それが問われているのです。

自身に残された時間は、限られています。そうであれば、一呼吸ずつ大切にしながら、激動の時代を生きた先達の息吹に学ぶしかありません。

館長就任のごあいさつ

館長 今川 英子

このたび佐木隆三館長の後を受け、北九州市立文学館の館長に就任いたしました。

五年間余、副館長の職にありましたが、一〇〇冊を超える著書がおりになる直木賞作家佐木館長の後任を、一研究者に過ぎない私に務まるか、いささか危惧しております。市立文学館の使命として、市ゆかりの文学者の資料収集、保存、調査、研究、公開を行つております。作品は勿論のこと、文学資料は街の記憶であり、街のアイデンティティを示すものとして、次世代にきつちりと引き継いでいかなければと考えています。

現役作家の方々の活躍も紹介しながら、他の芸術ジャンルとのコラボレーションも積極的に試み、若年層の文学離れ対策も考慮しつつ、文学や精神文化に関心のある方々の交流の場として運営できればと思います。
どうぞよろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。

目 次

○ ごあいさつ	1	○ 第2回 「あなたにあいたくて生まれてきた詩」コンクール受賞作品決定!!	5
○ 第10回特別企画展	2	○ 表彰式	
花衣俳人杉田久女		○ 2012年収蔵品展	6
○ 久女俳句の足跡を訪ねて 紅葉の英彦山バスハイク		○ 長谷川博一さん特別講演会	
○ 高橋睦郎さん講演会	3	○ 佐木隆三対談 自分史を語ろう	7
○ 開会記念講話 石太郎さん		○ 第7回 檜山荘子ども俳句大会 表彰式	
○ 杉田久女展記念俳句コンクール 入賞作品発表	4	自分史文学賞 受賞作品決定	
○ 北州市民力レッジ「俳人杉田久女を知る」(全6回)		誌上川柳大会 入賞作品展示	
		○ 第11回特別企画展	8
		没後50年記念 読み継がれる吉川英治文学—巖流島決闘から400年—	

◆第10回特別企画展

花衣 俳人杉田久女

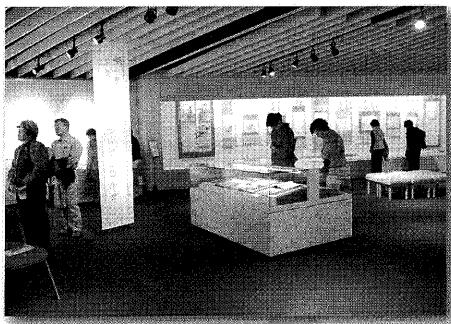
平成23年11月3日(木)～12月25日(日)



まだ、女性が俳句を詠むことの珍しかった時代——
女性俳人の草分けとして、小倉の地からその名を響かせた杉田久女の展覧会を開催しました。

師である高濱虚子から「男子の模倣を許さぬ特別の位置に立つ」と激賞され、存分に才能を開花させた久女。高い美意識の佳句を生む一方、表現者としての自意識が常に家庭や周囲との軋轢を引き起こしました。

初公開を含む約150点の資料から久女の光と影を紹介しました。



会場の様子

開会式 右より柏木教育長・石太郎さん・柿本和夫さん・杉田重男さん・築城則子さん・佐木館長



英彦山バスハイク 久女句碑を訪ねて

構成
プロローグ 俳句以前
常夏の碧き潮あびわがそだつ
幼少期から名門女学校での学生生活、芸術家の妻を夢見た杉田宇内との結婚まで。
足袋つぐやノラともならず教師妻
自己表現の喜びと懊惱
受洗後、俳句を遠ざかるまで。
二 俳句に蘇りて
斜して山ほととぎすほしいま
再び俳句の道へ戻り、「日本新名勝俳句」で帝国風景院賞を受賞するまで。

三 輝く作品
無憂華の木蔭はいづこ仏生会
主宰誌「花衣」創刊、「ホトトギス」同人推進、雑詠巻頭に至る久女句の黄金期。

四 同人「削除」

張りとほす女の意地や藍ゆかた
高濱虚子との軋轢から衝撃の「ホトトギス」同人「削除」。孤独な死を迎えるまで。
エピローグ 久女伝説
むれ落ちて楊貴妃桜尚あせず
虚像を生んだ「久女伝説」と再評価の機運について。

展覧会では、圓通寺、美萩野

（以上、小倉北区）、英彦山神宮（添田町）などのご協力で地域

の貴重な久女資料を再発見することができました。
また、北九州市立美術館と文

学館で収蔵する杉田宇内の自画像を展示。旧制小倉中学で宇内の教えを受けたという方々が懐かしまれました。

観覧者の滞在時間がとても長く、熱心な印象がありました。死後に「百年の友」を求めた久女が、まさにそれを得た展覧会です。

展示資料≈約150点

コース
展覧会見学（文学館）→昼食（道の駅・歓遊舎ひこさん）→英彦山→小倉駅解散

久女俳句の足跡を訪ねて
紅葉の英彦山バスハイク
平成23年11月10日(木)



英彦山神宮にて

○とても良い企画でした。現在高校で国語を教えています。（鷹）現代の高校生にもぜひ杉田久女の句を教えてたいです。動いたしました。（60代・女性）

◇展示物（豊富な資料）の多さ
△小倉に縁有る人でも名前だけしか知らないかった、杉田久女の人生となりの一端が分かつて良かった。（60代・男性）

高橋睦郎さん講演会

「久女と虚子—詩歌における女性性と男性性」

平成23年11月4日(金)



高橋睦郎さん

北九州市出身の詩人高橋睦郎さんに杉田久女を語っていただきました。八幡生まれ、門司育ちの高橋さんは、詩人として名高い方ですが、小説、俳句、短歌、オペラ、能、評論など多彩なジャンルで活躍です。

以前から久女に関心を寄せていた、という高橋さんは、久女を近代詩歌史上、樋口一葉、与謝野晶子に比肩する存在とされます。古来、男性に篡奪された女性としての久女が立ち現われました。

が、そういうことを離れて彼女の作品は輝かしく残つてゐる。表現者の場合、最後に残るのは作品だけです。

みなさまも、間もなく死にます(笑)。五十年後か百年後か分かりませんが、みんな死ぬんです。死後には、その人の作品とか仕事とか親切の思い出しかありません。ですから、善行に励みましょうね(笑)。

本展の開催を記念して、杉田久女の孫にあたる石太郎さんに、ご講話をいただきました。

石さんは、杉田久女の研究と名誉回復に生涯を賭けた石昌子さん(久女長女)のご長男です。現在、杉田家を継いだご実弟の杉田重男さんと共に、杉田久女の遺族としての役割を果たされています。

講話では、小原村の豊かな自然と、久女がそこで詠んだ最晩年の句などを紹介いただきました。

また、久女の伝記研究では批判的に語られることが多い杉田宇内について、幼心にもその印象を「誠実」とし、共に暮らした人ならではのエピソードを交えお話し下さいました。

開会式記念講話 石太郎さん
「それぞれの人生—杉田宇内、杉田久女、石昌子の取り組みを通して」

平成23年11月3日(木・祝)

高橋睦郎選杉田久女十句

開会式記念講話 石太郎さん

「それぞれの人生—杉田宇内、杉田久女、石昌子の取り組みを通して」

平成23年11月3日(木・祝)

春寒の髪のはし踏む梳手かな
稻妻に面をうたす蚊帳かな
玉虫や瑠璃翅乱れて暁とぶ
茄子もぐや日を照りかへす櫛のみね

夕顔やひらきかゝりて巣深く
玄海の濤のくらさや雁叫ぶ
水暗し葉をぬきん出て大蓮華
葉鶏頭のいただき躍る驟雨かな
風に落つ楊貴妃桜房のまゝ
蝶追うて春山深く迷ひけり

(内容一部抄)



石太郎さん

本展の開催を記念して、杉田久女の孫にあたる石太郎さんに、ご講話をいただきました。

石さんは、杉田久女の研究と名誉回復に生涯を賭けた石昌子さん(久女長女)のご長男です。現在、杉田家を継いだご実弟の杉田重男さんと共に、杉田久女の遺族としての役割を果たされています。

講話では、小原村の豊かな自然と、久女がそこで詠んだ最晩年の句などを紹介いただきました。

また、久女の伝記研究では批判的に語られることが多い杉田宇内について、幼心にもその印象を「誠実」とし、共に暮らした人ならではのエピソードを交えお話し下さいました。

今日の再評価で、久女を研究しようとする人は多く、ご遺族への取材など、大変なこともあります。しかし、久女は、そのすべてを「出会いと喜び」に変え、未来につなげていきたい、と述べられました。

実直な中学教師となる杉田宇内と結婚したことは誇り高い天才肌の彼女にとって辛いことでした。師の高濱虚子は文化学院で与謝野夫妻と同僚になるわけですが、久女が晶子に匹敵する才華の持主だと分かつていてどうしよう。しかし、彼女が切望する句集の序文を与えたるうなるかも、また結社経営者の目で冷徹に見ていました。

＊＊＊
高橋睦郎さん講演会
アンケート
◇解りやすく、高橋先生のお人柄が表れていて、とても素敵な時間を過ごしました。(有難うございました。)(50代・女性)
◇高橋睦郎先生にお会いで感激。すばらしい講演でした。(60代・男性)
＊＊＊

＊＊＊
高橋睦郎さん講演会
アンケート
◇古代より説き起こすスケールの大きい、胸にしみるご講演でした。久女のすごさと薄幸さだけでない救いが感じられ、私も救われました。(70代・女性)
＊＊＊

よく使用される久女の写真に昭和17年のものがありますが、これは初孫の太郎さん出生の記念に撮影されました。この後すぐによん親子は愛知県西加茂郡小原村の杉田家へ疎開。久女の死後、小原村へ戻った祖父の杉田宇内と幼少期を過ごしました。



1942年撮影。左から久女、石一郎(昌子夫)、初孫太郎、長女昌子

第10回特別企画展

「花衣 俳人杉田久

女」の開催を記念し

て、株式会社

特別協賛のも

と俳句コンクールを

開催しました。

選者は、岸原清行

（青嶺）主宰 福岡

県俳句協会会長、寺

井谷子（自鳴鐘）主

宰 現代俳句協会副

会長）の両氏にお願

いしました。（五十音

順）

当コンクールは、

スターフライヤー機

内での応募も含め

て、全国から399

句の応募があり、特

選2句、入選20句が

決定しました。

副賞として、特選

はスターフライヤー

北九州→東京往復航

空券、入選は文学館・

杉田久女風呂敷が贈

呈されました。

入賞作品発表

◆ 杉田久女展記念俳句コンクール

岸原 清行 選
寺井 谷子 選寺井 谷子 選
寺井 谷子 選北九州市民力アソシ
「俳人杉田久女を知る」(全6回)12月17日 増田連さん
（杉田久女研究家）

らみる杉田久女

久女展みて年の瀬の空仰ぐ
（若松区）村松 芳子さう言へばもうゐないはは冬
の雨

（八幡西区）倉本 朋香

『杉田久女ノート』の刊行で
久女再評価の契機を作られた増
田連さんや、俳人で久女の研究
書も刊行されている鈴木厚子さ
んなどにお話しいただきました。滑走路かたむけ鶴の渡りかな
（八幡西区）田崎 ひろ紅鋭角に五叉路まがりて星冴ゆる
（福津市）島本 良治

（小倉南区）柴山 品子

英彦山の紅葉見て来し人と逢ふ
（大分市）藍澤 博子うすずみの久女の文字や冬ざ
くらご協力いただいた「久女・多佳
子の会」の柿本和夫会長には、
まちづくりの視点から講義いた
だき、文学研究にとどまらない
多角的な講座内容となりました。後ろより津波が今も去年今年
（八幡西区）城島 利夫板の間は母のぬくもり柿を剥ぐ
（宗像市）梶原 マサ子

（戸畠区）石藏 啓三郎

汝が詠みし「市の空」今冬き
ざす返り花久女の放つ句の香り
（八幡西区）田口 記代夕星にはぐれ鶴啼く久女の忌
（若松区）岩間 慶子田連さんや、俳人で久女の研究
書も刊行されている鈴木厚子さ
んなどにお話しいただきました。蘇る久女の誉れ霜日和
（八幡西区）城島 徳枝父の遺影隠れるほどの林檎かな
（宗像市）藤崎 由希子

（小倉北区）天川 悅子

「杉田久女と北九州の俳人」
講座後学芸員による展示解説山眠る毀譽褒貶を低く見て
（八幡東区）伊藤 信昭

（八幡西区）伊藤 信昭

辻聖子さんの本からでした。
△久女のことを知ったのは、國
（略）個人的な女性の内面のよ
うなものを語り下げていただき
たら、もっと良かったと思いました。
した。でも、その時代背景が良
く解りました。（60代・女性）冬蝶や水茎美しき久女の書
（中間市）加藤 悅子

（横浜市）前田 美知子

（久女・多佳子の会）会長

平戸島六角井戸の黄落す
（下関市）勝島 裕子（久女・多佳子の会）活動を通して
（北九州市立文学館館芸員）めそめそと泣くも供養の桐一葉
（横浜市）前田 美知子

（久女・多佳子の会）会長

冬夕焼に翼染め立つスターフ
（八幡西区）松田 真之（久女・多佳子の会）活動を通して
（北九州市立文学館館芸員）ライヤー
（市川市）小林 順子

（久女・多佳子の会）会長

（八幡西区）田口 記代

（八幡西区）田口 記代

冬夕焼に翼染め立つスターフ
（八幡西区）松田 真之（久女・多佳子の会）活動を通して
（北九州市立文学館館芸員）

（八幡西区）田口 記代

11月5日 本田幸信さん
（俳人、前北九州文化連盟会長）11月12日 鈴木厚子さん
（俳人、「雉」編集長）11月19日 柿本和夫さん
（杉田久女の世界）12月3日 中西由紀子
（久女・多佳子の会）活動を通して
（北九州市立文学館館芸員）

増田連さん

◆ 文学講座アンケート
△久女のことを知ったのは、国
（略）個人的な女性の内面のよ
うなものを語り下げていただき
たら、もっと良かったと思いました。
した。でも、その時代背景が良
く解りました。（60代・女性）

△元の俳人のことですので大
変興味をもらいました。女性が記
憶に蘇められるのが當時いかに
大変か解りました。

（70代・女性）

◆ 第2回「あなたにあいたくて生まれてきた詩」コンクール 受賞作品決定!!

では、本市出身の詩人 宗左近、みづかみかずよを顕彰するとともに、子どもの豊かな表現力を伸ばすことを目的に、「あなたにあいたくて生まれてきた詩」コンクールを、昨年に引き続き実施いたしました。

今回は、県内外から小学生の部 577点 中学生の部 448点 の応募がありました。

詩人の平出隆先生による最終審査の結果、以下のとおり各賞が決定しました。いずれの作品も優秀作品ばかりで、審査の先生方も大変苦労された様子でした。

子どもたちの柔らかな感性と言葉の瑞々しさに触れることができたコンクールでした。

小学生の部 （最優秀賞）

■宗左近賞 木 溝口 航 柄杓田小学校5年

■みづかみかずよ賞
(優秀賞)

たつまき かくかおる 中尾小学校1年

■北九州市長賞

とうほく大しんさい 松木 夏帆

守恒小学校2年

■西日本新聞社賞 成長 楠田 菜奈

八枝小学校4年

■北九州市教育長賞 木 八田 渚 简井小学校5年

（佳作）

■宗左近賞 風 中西 和敦 明治学園中学校1年

■みづかみかずよ賞 真夜中の読書 岡田 昌樹 明治学園中学校1年

■優秀賞 (優秀賞)

■北九州市長賞 心の音 木戸 杏衣莉 大蔵中学校3年

■北九州市教育長賞 「大切」ということ 岩崎 朱里 大蔵中学校1年

■西日本新聞社賞 おがみ虫 保木本 剛 小倉中学校1年

（佳作）

あたらしい家族 井上 りさ 牧山小学校3年

ハムスター 田上 まりあ 祝町小学校3年

妹のこけかた 田中 ゆうな 折尾西小学校4年

おふろそうじ 中村 夢空 八幡小学校3年

おたまじやくし ふく本 まさや 中尾小学校2年

伝わった気持ち 万田 優希 高見小学校4年

私の妹 三浦 もか子 祝町小学校3年

犬のももちゃん むら上 はやと 中尾小学校1年

がつこうとわたし やましたせいな 牧山小学校1年

（表彰式）

朝の通学 岡 祐一郎 九州国際大学付属中学校2年

カブトムシ 小野 晴世 明治学園中学校1年

形ある物 笠野 葵 思永中学校3年

デッサン 渋谷 祐輝 大蔵中学校1年

境目 竹中 智美 大蔵中学校3年

『自分』といいうドライバー 立木 旭 九州国際大学付属中学校2年

キャプテン 中山 裕美子 九州国際大学付属中学校2年

似ている 波多野 菜央 大蔵中学校3年

パイロット 本田 陸 九州国際大学付属中学校2年

心と頭と言葉 大和 拓未 思永中学校3年

表彰式

12月10日文学館にて、第2回「あなたにあいたくて生まれてきた詩」コンクールの表彰式を行いました。

北橋健治北九州市長の挨拶、詩人の平出隆さんによる審査講評のあと、記念写真を撮影。うれしそうにはにかむ姿が印象的でした。



宗左近夫人による表彰楯の授与

そして本コンクールのタイトルでもある宗左近さん作詞の合唱組曲「あなたにあいたくて生まれてきた詩」と、みづかみかずよさん作詞の合唱組曲「めばえ」を、高山保材先生のご指導のもと、北九州市小倉少年少女合唱団が披露。清々しい歌声が、館内に響きました。

◆ 2012年収蔵品展

小特集 森鷗外生誕150年

今回の収蔵品展では、生誕150年を迎える森鷗外の関連資料のほか、「燭台」をはじめとする地元文芸誌、文学館発行『火野葦平寄託資料目録I』掲載資料などを紹介しています。

鷗外は、明治32年6月から2年10ヶ月、陸軍第十二師団軍医部長として小倉で勤務しました。勤務の傍ら講演や新聞への寄稿を行い、地元の人々とも交流しました。小倉時代を書いた小説として、「鷄」「獨身」「二人の友」が小倉二部作として知られています。

展示資料として、9年の歳月をかけて翻訳し、小倉在任中の明治34年に訳了したアンデルセン著『即興詩人』や美学に関する訳書『審美綱領』など、鷗外が手がけた翻訳資料を展示。小倉三部作の一つ「鷄」を所収した短編集『烟塵』などの初版本も紹介。また、鷗外が支援をした発明家矢頭良一の死を悼み、父道一のために揮毫した書幅「天馬行空」を展示。ほかに、東大の同期でともに軍医であ

り、生涯にわたる親友でもあつた賀古鶴所に宛てた書簡など約30点を紹介しています。



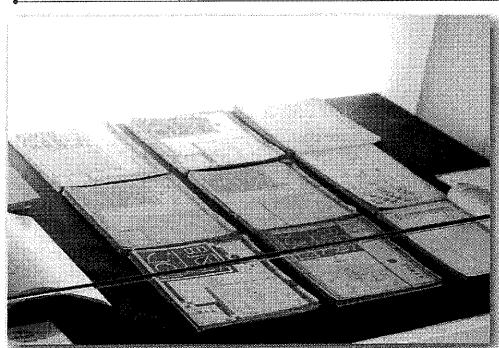
森鷗外直筆の書幅

併せて、門司で発行された文芸誌「南方藝術」や俳誌「數の子」などを展示しています。

『火野葦平寄託資料目録I』掲載の資料からは、葦平が戦後ヨーロッパ、アジア、アメリカを歴訪した際に記した手帳や原稿、家族らに宛てた手紙などを紹介。

そのほか、『蜩ノ記』で第146回直木賞を受賞された小倉出身の作家葉室鱗さんの著作を紹介するコーナーや、北九州における郷土研究の第一人者として活躍し、昨年逝去された今村元市さんの追悼コーナーを設けています。

展示資料 200点



文芸誌「燭台」

名を連ねています。

◆ 長谷川博一さん特別講演会

～臨床心理士が迫る犯罪者の心理～

を詳しく話されました。

臨床心理士であり、凶悪事件の心理鑑定を手がけている長谷川博一さんにご講演いただきました。

談から始まり、館長は、被告人と実際面談している長谷川さんとのご講演に大変興味があると話されました。

最初、長谷川さんと館長の対話から始まり、館長は、被告人と一度しか面談できなかつたこと、合計五回の裁判は、事件の真相が十分に解明できないのではないかと疑問を呈されていました。

心理鑑定は、裁判所の依頼を受けて行う時と、自由な立場で行う時があるそうです。「大阪教育大附属小事件」「光市母子殺害事件」等は後者で、被告人の承諾があれば比較的多くの内容を公言できるそうです。

長谷川さんは、被告人と向き合う中で、できる限り公平な立場で事件の真実を究明したいと考えているそうですが、弁護側と検察側は各々有利な証拠を得たいため、対立することがしばしばあるそうです。

鑑定人として携わった「秋田連続児童殺害事件」では、事件の記憶がない被告人の供述調書に疑問を呈し、被告人の記憶を呼び起こすため行つた面談内容



館長と対談する長谷川博一さん(左)

◆佐木隆二対談

自分史を語ろう

各分野においてご活躍されている方を招き、その方が歩んできた半生を振り返りながら、佐木館長が鋭く人生の真髓に迫ります。今回はお二人の方をお招きし、その半生を語っていただきました。

10月15日(土)

北九州市総務企画局シティプロモーション部長の愛甲秀則さん

を招きし、氏の自分史に迫りました。



館長と対談する愛甲秀則さん(右)

ンティアの始まりだつたと語る
愛甲さん。

東北大震災の被災地である釜石市にてボランティアと慰問活動に従事。自分たちが作つた豚汁を被災者が、本当においしいと言つて食べてくれたことに今までの苦労が報われたとのことでした。

本職は、全国に北九州市をPRして歩く本市の宣伝隊長ですが、「美川憲」ならぬものまね芸人「美川憲」として美しい?女性?男性?姿を披露。

東北大震災の被災地などで慰問活動を行っています。

多くの言葉より、歌を歌うことのほうが、人とのコミュニケーションを取りやすく、心の部分での人ととの接点ができるくると力強く語っていました。

1月28日(土)

劇団「青春座」で長年にわたり座長を務めている井生定巳さんを招き、お話を伺いました。

学生時代は、学校の先生になりたかったと語る井生さん。

あるイベントで、バナナの叩き売りを北九州市の観光流にアレンジして出場。この時、会場の笑いを誘つたことが、芸人、ボラ

ー可」と書かれた部員募集のチラシに惹かれ、何気なく早大劇団

「こだま」に入団。途中何度も演

劇を辞めようと思つたそうですが、先輩から奢つてもらつたラーメンとコーヒーが、今まで自分を演劇に縛り付けたと冗談交じりで述懐されていました。

ラーメンとコーヒーが、今まで自分を演劇に縛り付けたと冗談交じりで述懐されていました。

1月28日(土)

井生定巳さん

秀作36作品 佳作88作品が選ばれました。文学館ロビーには作品を色紙や短冊で展示。自分たちの作品を見入っていました。

〔大賞〕

青春座には、氏のご兄弟が先に入団。その縁で参加したとのことです。以降、演出家として今日に至つているとのことでした。

秋の風

東京の読売ホールで、「無法松の一生」を公演。大盛況のうちに終演できしたことや、北九州演劇祭立ち上げ時の裏話など、氏と青春座の歩みについて話されました。

花の香りの

光貞小学校6年 前川 優加

宅急便

葛原小学校6年 丸田 実幸

（文学館館長賞）

夏の空

色とりどりの

花が咲く

井生さんは、芝居を行ううえ

で重要なことは、その時代に

あつたものを取り入れること、

自分たちのしたい芝居をすること、

そして観覧にきたお客様と、

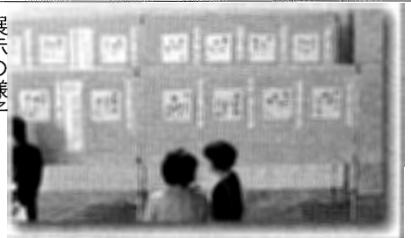
育ててもらうこと、だと熱く語っていました。

◆ 第7回 櫻山莊子子ども俳句大会 表彰式

◆ 自分史文学賞 受賞作品決定



表彰式の様子



◆ 誌上川柳大会 入賞作品展示

北九州川柳作家連盟主催で行なわれた全国誌上川柳大会の入賞作品を、文学館ロビーにて展示しました。

小中学生を対象とした第7回市子ども俳句大会（櫻山莊子も俳句大会実行委員会主催）が行われ、表彰式が10月29日文学館にて行われました。

今回4958作品もの応募があり、その中から特別賞10作品

秀作36作品 佳作88作品が選ばれました。文学館ロビーには作品を色紙や短冊で展示。自分たちの作品を見入っていました。

平成24年1月12日の最終審査会で、焼き鳥店開業の奮闘を綴つた阿部敏広さん（浜松市）の「素人酒場坂繁盛記」が大賞に決定。加納孝子さん（愛知県）の「三方の娘」が佳作、重本津子さん（埼玉県）の「歩き続けよう」が佳作と北九州市特別賞を受賞しました。

第22回（平成23年度）北九州市自分史文学賞は、平成23年7月1日から9月30日まで作品を募集し、国内外より330点の応募がありました。

平成24年1月12日の最終審査会で、焼き鳥店開業の奮闘を綴つた阿部敏広さん（浜松市）の「素人酒場坂繁盛記」が大賞に決定。加納孝子さん（愛知県）の「三方の娘」が佳作、重本津子さん（埼玉県）の「歩き続けよう」が佳作と北九州市特別賞を受賞しました。

第11回特別企画展

没後50年記念

読み継がれる吉川英治文学——巖流島決闘から400年——

2012年は作家吉川英治の生誕120年、没後50年。巖流島の決闘から400年を迎えます。文学館では、これを記念し、昭和の大ベストセラー作家吉川英治の展覧会を開催します。漫画『バガボンド』の井上雄彦が描く武蔵やNHK人形劇でおなじみの川本喜八郎作『三国志』人形も登場。吉川英治の壮大な物語世界をお楽しみください。

*会期
平成24年4月21日(土)

→7月1日(日)
※月曜日休館
4/30は開館/5/休館

*観覧料
(年間パスポートは適用なし)

一般 500円
中高生 200円
小学生 100円

*内容

- 一 広がり行く吉川文学
- 二 吉川文学の世界Ⅰ
投稿家から作家へ
- 三 吉川文学の世界Ⅱ
「宮本武蔵」「三国志」「新・北九州・福岡と吉川英治
- 四 吉川文学の世界Ⅲ
五 吉川英治のことば

*イベント

○開会記念講話 4月21日(土)

吉川英明さん(吉川英治記念館館長)「武蔵から新・平家へ—英



吉川英治(吉川英治記念館提供)

○指方恭一郎さん講演会
5月17日(木)
「吉川英治「親鸞」と「宮本武蔵」——その共通する人間観」

○映画「宮本武蔵 巖流島の決斗」上映会
1965年 東映 内田吐夢監督、中村錦之助・高倉健主演
6月17日(日)

○北九州市民力レッジ「没後50年 読み継がれる吉川英治文学」
詳しくは文学館HPか展覧会チラシをご覧ください。

◎資料寄贈者・提供者
受贈雑誌一覧(平成24年2月現在)

寄贈者・提供者

Avana編集部 明石善之助
秋吉好 麻生壽々代 有森

信二 市川市文学プラザ
井上智重 井上靖記念文化

財団 遠藤周作文学館 大

岡信ことば館 岡山市デジタルミュージアム

ま近代文学館 神奈川近代文学館 「別冊太陽」編集

部 鎌倉文学館 「郷土の先達」上梓特別委員会 草

野心平記念館 株皓星社

さいたま文学館 品川洋子

株小学館 鈴木厚子 鈴木

絢治 株スタートライヤー

仙台文学館 鷹取美保子

高梁比庵会 田中秀人 土

屋文明記念館 坪内稔典

長塚節文学賞 中西輝磨

中原澄子 菜穀火発行所

波佐間義之 八田昂 林美

美子の会 「浮雲」事務局

通信 四人 八雁 與謝野

晶子研究
(五十嵐・敬称略)

牧野田辰則 増田連 町田

市民文学館ことばらんど
松ヶ江郷土史会

松本梨江 榎鳩十文学記念館
森内道夫 柳生じゅん

子 山口公和 行橋市歴史

資料館 与謝野晶子文芸館
岡信ことば館 岡山市デジタルミュージアム

渡辺玄英

提供雑誌

青嶺 馬醉木 あしへい
穴生文芸 あまだむ 色鳥

海 鷗外 沖 海峡派 北

九州国文 牙 九州作家

九州文学 九大日文 群炎

月刊俳句界 月刊みんぱく

玄海 沙漠 詩と思想 自

鳴鐘 周炎 人権と文化

船団 川柳あやめ 川柳く

伝書鳩 天籟通信 とびう

お 菜穀火 虹野 橋ひ

ろがね 旅鶴 天山牧歌

勝山公園

母の日 Comet 耳空 民博

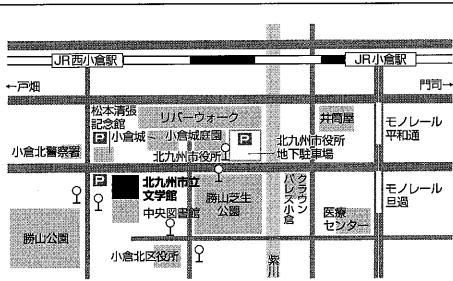
モノレール 平和通り
モノレール 旦過

北九州市立文学館と

篠城則子さんによる
小倉織が、杉田久安

「花衣」をテーマに
コラボレーション!

好評販売中!
北九州市立文学館



■ 開館時間
火～金 9:30～19:00(入館は18:30まで)
土・日・祝 9:30～18:00(入館は17:30まで)

■ 休館日
毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)

年末年始



2012年4月1日発行
北九州市立文学館
〒803-0813
北九州市小倉北区城内4-1
TEL 093-571-1505
<http://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/>

■ 開館時間

火～金 9:30～19:00(入館は18:30まで)
土・日・祝 9:30～18:00(入館は17:30まで)

■ 休館日

毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
年末年始